

安全性データシート

改訂: 2025年4月15日

前作成日: -

SDS番号: 488

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC CF

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: ポリマーコンポジットとともに修理に使用される固体繊維。

使用上の制限: 情報なし

使用が奨励されない理由: 適応せず

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

GHSによれば、本製品はいずれの危険物クラスにおいても分類基準を満たしていません。

2.1.2. 追加情報

なし

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

工業的用途ではなし。

## セクション 3: 組成、成分情報

## 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	GHS分類
炭素繊維	95-100	7440-44-0		分類されていません

<sup>1</sup>分類基準：労働安全衛生法，毒物および劇物取締法，GHS

## セクション 4: 応急処置

## 4.1. 応急処置情報

- 吸入：** 新鮮な空気のある場所に移動してください。症状が続く場合は医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着：** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合：** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合：** 適応せず
- 応急手当を行う人の保護：** 予防策は特になし。

## 4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

カーボン繊維は皮膚や目、鼻に炎症を起こすかもしれません。

## 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

## セクション 5: 火災時の処置

## 5.1. 消火剤

- 適切な消火剤：** 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水スプレー
- 不適切消火剤：** 既知の影響なし

## 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

- 有害な燃焼生成物：** 一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。
- その他の危険性：** なし

## 5.3. 消防の際のアドバイス

消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

## セクション 6: 漏出時の処置

## 6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

## 6.2. 環境に対する注意

条件は特になし。

## 6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

処置は特に必要なし。無毒。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7： 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

使用后、手を充分洗浄してください。カーボン繊維の蓄積は電気機器のショートを起こすことがあります。除去、ドリル、研削、切断、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8： 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
炭素繊維	(吸引可能)	2	(総塵)	10 *
	(総塵)	8	(吸引可能)	3

\* 特定不能の微粒子 (PNOS)

**生物学的限界値**

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護：** 通常不必要。もしも限界を超えているようであれば認可されたダストマスクを使用。(例：欧州規格フィルタータイプ P1)。

**手袋：** 推奨

**目 / 顔の保護：** 安全メガネ

**その他：** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

条件は特になし。

## セクション 9： 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	固体繊維	pH	適応せず
色	黒	動粘	適応せず
臭気	適応せず	水溶性	不溶性
においの閾値	適応せず	分配係数:n-オクタノール/ 水 (Log Pow)	未定
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 538° C	20°Cでの蒸気圧	0 mm Hg
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.75 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	適応せず
引火性	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	適応せず
高/低引火性あるいは高/低爆 発限界	適応せず	重量比芳香物含有率 (%)	適応せず
引火点	適応せず	爆発性	適応せず
方法	適応せず	酸化性	適応せず
自己発火温度	未定	粒子特性	未定
分解温度	> 260° C		

## 9.2. その他の情報

なし

## セクション 10： 安定性及び反応性

## 10.1. 反応性

なし

## 10.2. 化学的安定性

安定

## 10.3. 危険な反応の可能性

なし

## 10.4. 避けるべき条件

情報なし

## 10.5. 配合禁忌薬品

なし

## 10.6. 危険な分解物

なし

## セクション 11： 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。

## 急性毒性 -

経口： データなし

経皮： データなし

吸入： 繊維を吸込むと、呼吸器系の炎症を起こすことがあります。

皮膚腐食性/刺激性： 繊維は皮膚に機械的刺激を起こすことがあります。

眼に対する重篤な損傷性/ 眼  
刺激性： 繊維は目に機械的刺激を起こすことがあります。

呼吸器または皮膚の感作：	データなし
胚細胞突然変異原性：	データなし
がん原性：	本製品は、国際がん研究機関(IARC)あるいは欧州化学機関(ECHA)の規定する発がん性物質を含有していません。
生殖毒性：	データなし
STOT - 単回暴露：	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
STOT - 反復暴露：	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
吸引性呼吸器有害性：	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
その他の情報：	なし

### セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

#### 12.1. 毒性

水生生物に害はないとされています。

#### 12.2. 持続性・分解性

炭素繊維: 無機物質、天然に存在。

#### 12.3. 生物蓄積の可能性

情報なし。

#### 12.4. 土壌中の移動性

固体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

#### 12.5. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

#### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

### セクション 13: 廃棄上の注意

#### 13.1. 廃棄処理方法

未使用の製品は規制廃棄物ではありません。安全で正式に認可されたごみ投棄場で処分できる。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

### セクション 14: 輸送上の注意

#### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

#### 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

#### 14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

#### 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

適応せず

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

適応せず

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

適応せず

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

なし

**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧：** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PEL: 許容暴露限度  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 その他の略語は[www.wikipedia.org](http://www.wikipedia.org)で調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典：** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)  
 化学分類および情報データベース (CCID)

**GHSによる混合物の分類方法：**

分類	分類手順
適応せず	適応せず

**関連するH(危険)-ステートメント：** なし

**その他の情報：** なし

**本改訂によるSDSの変更：** 原本。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。

